

MaaS 実証実験の例 ～新モビリティサービス推進事業 先行モデル事業～

志摩地域観光型MaaS実証実験

(近鉄グループホールディングス株式会社:志摩市との連携協定を締結予定)

観光地型

実験の概要

第1期は経路検索等の環境整備、オンデマンド交通を試行しMaaS提供体制を整備。第2期は域内陸上・海上の複数交通サービスや旅行商品を統合したMaaSアプリを公開。検索・予約・決済機能の提供、デジタルフリーパス販売を行い需要・技術的検証を行う。

協議会の構成員

- 連携協定:志摩市及び近鉄グループホールディングス(株)(締結準備中)
 - 連携:志摩MaaS協議会(設立準備中)
- 志摩市、三重県、近鉄グループホールディングス(株)、志摩マリンレジャー(株)、(一社)志摩市観光協会、学識有識者等

地域の交通課題

- ・志摩にはポテンシャルの高い観光地、集客スポットがあるものの、それが各所に広く点在。一方、「**交通アクセス手段の不足**」、「**複数の交通事業者・宿泊関連事業者が個別に交通手段を提供して運営が非効率**」、「**観光客にとってわかりづらい**」、「**経路や利用できる交通手段やその利便性などの情報発信が十分でない**」ゆえに、自家用車観光に依存、地域活性化がはかられていない。
- ・観光地としての魅力向上、住民の高齢化対応も含め、当該地域での多様な交通手段の連携・効率化が急務。

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

- ・技術・需要面から検証項目を設定。2020年1～2月の実証期間における主なKPI指標は以下
 - ・アプリダウンロード数:8,000DL
 - ・デジタルフリーパス購入数:400枚
 - ・MaaSの利活用を促す旅行商品購入者数:230人
 - ・新型オンデマンドサービス利用者数:600回(バス、タクシー、マリンタクシーの合計利用者数)
 - ・MaaSの利用満足度:70%

実験内容:

- (1)志摩地域における観光型MaaS環境およびアプリの構築
- MaaSにより連携する交通手段

交通手段	概要
鉄道	近畿日本鉄道(株)の路線
バス	三重交通(株)の路線バス、公営バス
オンデマンド交通	①三重交通(株)の現路線をベースとしたデマンドバス(横山展望台～鶴方駅、鶴方駅～大王崎～桐垣展望台・志摩自然学校区間) ②志摩マリンレジャーの英虞湾マリンタクシー(賢島港、ホテル棧橋、浜島、志摩自然学校、和具、御座等区間) ③三重近鉄タクシー(株)・(株)和栄タクシーのデマンドタクシー(相乗り可とする)
その他	近鉄グループホールディングスが運行しているシャトルバス(鶴方駅、賢島駅、各宿泊施設区間) ※空き時間や回送を活用した宿泊施設利用者向けの送客サービスを強化

- MaaSアプリの構築・検証:上記交通手段の「検索」、オンデマンド交通の「予約」、オンデマンド交通・デジタルフリーパスの「決済」ほか、観光地情報を検索可能
- サービス範囲・ルートの検討:交通結節点の形成を意識した実証ルートの設定
- 定額制を含む料金体系の検討:伊勢志摩エリアの「デジタルフリーパス」

交通手段	デジタルフリーパス購入者が利用できるサービス(網羅中)
鉄道	名古屋・大阪のターミナル⇔伊勢志摩の往復乗車券・伊勢志摩周遊フリー乗車券
バス	伊勢志摩周遊フリー乗車券 ※デマンドバスも含む
定期船	英虞湾定期船(賢島・和具、賢島・浜島) フリー乗船券
観光施設	伊勢志摩の主要観光施設の入場・入館フリー

- 旅行商品と連携したMaaSの導入:持続可能なMaaSの運営に向け、需要を確保・拡大していくための仕組みが必要。観光の回遊が誘発する施策と連携することが有益であり、本実証でのMaaSが組み込まれた旅行商品を造成・販売し、需要を検証、観光客向けの普及方策を検討する。
- (2)新型輸送サービス(オンデマンド交通)の実証実験
- バス・タクシー・マリンタクシーの新しい輸送サービスを運行
- 運行システムは、既存デマンド交通の実績豊富なソフトウェア会社のオンデマンド運行システムを上記交通機関の運行特性に適合するよう調整し、導入予定

瀬戸内の復権へ:海・陸・空の自由な移動網による国際観光先進都市の創造 (瀬戸内洋上都市ビジョン協議会)

観光地型

実験の概要:高松空港から入る香川・瀬戸内観光客を対象に、海上タクシーを含む海・陸・空の交通機関やツアーバス等観光事業者とAPI連携した旅程提案型MaaSを提供する。観光客の行動変容を検証し、持続的な瀬戸内観光振興に向けた示唆を検証する。

地域の交通課題:

- 観光客(特に瀬戸内に来訪する外国人観光客)の観光体験・購買機会の損失に繋がるモビリティ不足
- <瀬戸内離島>公共交通の時間・容量制約による移動手段不足やフェリー、バスの積み残し
- <高松市街地>脆弱なインターモーダル連携による市内観光・経済の不活性

実験内容:

MaaSアプリ「Horai」の連携基盤システム開発実験を中心に、全体を通貫する実験項目の下、事業者と協力して本実証実験のコア目的である「海上・陸上交通の連携に向けた障壁の克服」を実現する。実現可能な領域から連携を本格化し、実験後には空港やエアラインも巻き込み、海陸空のシームレスな移動を目指したデータ・事業者の統合を図る。



参考:HoraiのUI

Phase	実証実験(1)	DBとのAPI連携開発
Phase 0 全体調整	実証実験(2)	需要予測モデルの構築と検証
	実証実験(3)	MaaS社会受容性調査
Phase 1 海上	実証実験(4)	海上タクシー運行実験
	実証実験(5)	AVATAR実験
	実証実験(6)	電子・オンライン決済一部導入
Phase 2 陸上	実証実験(7)	旅程連動タクシー配車導入
	実証実験(8)	手ぶら観光連携
	実証実験(9)	市内観光の課題抽出

本格的な導入に向けた検証項目、目標値:

- MaaSアプリ(Horai)のダウンロード数(396→2400)
- 海上タクシーの利用者数(110→700)
- (396ダウンロード、利用者数110人、:2019年5月28日現在)
- ・実証実験によって観光客の機会損失の解消が確認されること
- 行きたかったのに行けなかったという観光客が1箇所/日以上減ること
- ・海上・陸上交通のデータ連携に向けた障壁を取り除けていること
- 高松港発着の全7航路のうち、非現金決済を導入していない5航路がクレジットカード決済を、また、事前のウェブ予約に対応していない全7航路のうち、観光客の多い小豆島・直島・豊島に接続する5航路が事前のウェブ予約に対応している、もしくは対応することが決定している状況にあること
- 小豆島・直島の全てのタクシー事業者について、MaaSアプリ(Horai)上の配車・決済が可能になっていること

協議会の構成員:

①企画及び次世代モビリティに関するビジョン検討/社会受容性醸成		
scheme verge(株)	ANAホールディングス(株)	高松商運(株)
②MaaSに向けたデータの整備と、MaaSアプリを通じた電子決済対応・モビリティ提供		
ことでんグループ	四国旅客鉄道(株)	日新タクシー(株)
		香川県旅客船協会
③データの利活用のためのプラットフォームの整備		
scheme verge(株)	(株)電通	香川大学米谷研究室
④MaaSプラットフォームと観光・旅行業システムの連携に向けた実証		
(一社)	高松空港(株)	穴吹興産(株)
せとうち観光推進機構	(三菱地所DX推進部支援)	
⑤既存/関連の取り組みとの連携・関係整理(オブザーバ)		
国土交通省 四国運輸局	高松市役所 総務局	小豆島町 土庄町 直島町